

S シリーズ
Series.

夢のシニア海外ボランティア

第2回 新生活編

当協会の国際交流ボランティアで、現在、マレーシアのコタキナバルでシニア海外ボランティアとして活動している河合さん。シリーズ2回目は、赴任したばかり現地の様子を紹介します。

シニア海外ボランティア 河合 泉さん



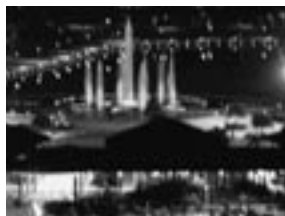
JICAボランティアの皆さんと(前列左が河合さん)

新しい発見続きのマレーシア生活

7月初め、たった4日間のマレー語の研修で、あいさつと数字ぐらいいしか覚えられないまま、私はボルネオ島の北東、サバ州の任地コタキナバルに移動しました。



サバ州でJICAなどのボランティアを受け入れている経済計画部局の役所と、ボランティア先のスリムガシセンター(NGO)へのあいさつは、現地のJICA調整員が予定を組んでくれました。はじめの9日間は、相手側のNGOの職員寮に泊めてもらい、その後、近くのマンションへ移りました。ここは飛行機の離着陸の音に慣れれば、景色も空気も素晴らしくいいところで、皆さんに見てほしいほどです。目の前の道路の後ろが夕日のきれいな海です。また歩いてすぐ近くに、大きな運動公園があり、大きな池に噴水もあり、夜にはライトアップ(写真)されます。ここで毎日夕方、私も多くの地元の人たちと混じって、ゴム張りのコースをジョギングしています。



さて、マレーシアといえば、マレー系、インド系、中国系と元々の現地の民族の人々がお互い尊重し合って生活し、国の平和を保っていることで有名ですが、イスラム教徒の人々は、7月下旬から約1か月はラマダンという断食月で、日の出から日没まで飲食を一切しません。その後の断食明けは盛大に祭りが行われ国民の祭日となり、多くの職場も1週間休みになります。

ここからは日々の暮らしについて報告します。こちらの州でビザの取得、銀行口座の開設、マンションの契約など、

主なことはカウンターパートという方が立ち会ってくれました。しかし、毎日の生活では、文化や習慣、食べ物、言語などの違いが多く、驚くことばかりです。英語も通じますが、現地では日々の会話は、ほとんどマレー語が中心に使われているので、少しずつ勉強しています。

こちらでは、車が優先の社会で日中はかなり渋滞しています。それなのに横断歩道や信号もあまりないので、車の流れを見ながら、急いで横断することになります。対照的に市民の生活は、朝が早いことを除けば、実にゆったりしており、朝7時30分からの仕事ですが、出勤してから持ってきた朝食を食べている人もよく見ます。10時になると30分休憩があり、軽い食事をしたりします。日に5回軽い食事をする人たちも多いそうです。



さて食事といえば暑い国ですので、近隣のベトナム、フィリピンと同じように、全体的に脂っこく、香辛料を多く使って、暑さに負けないような食事が多いです。それぞれの民族ごとに食事内容は違ってはいるものの、ミックスされ洗練された料理は日本人の口に合っているようです。代表的マレーシア庶民料理は、ナシゴレン(チャーハン)、ミーゴレン(脂っこい焼きそば)、それにごはんの横に、揚げ物や肉、野菜の炒め物を選んでのせて、スプーンで食べる料理ナシチャンプルです。



焼きビーフン「ミーフーゴレン」も代表的な庶民料理

驚くことに、店員が目分量でおかずの金額を決めている店もあります。私も昼は外食で、センターで作られた定食か、土日は簡易なレストランで料理を選んで食べています。次回は、現地での活動を中心に紹介します。

OFFICE GOODS DELIVERY

IKUMO

株式会社 イクモ

〒440-0056 愛知県豊橋市南旭町78番地
TEL.(0532) 56-0766(代) FAX.(0532) 56-0767
<http://www.ikumo-net.co.jp/>

文具通販最大手 ASKUL

新流通最多アイテム Smartoffice

学校、保育園市場No.1の新流通 スマートスクール

新流通三河No.1取扱高の

株式会社 豊橋タイプ

豊橋市松葉町2の5
TEL (0532) 53-5111(代)
FAX (0532) 53-6783
URL <http://www.t-type.co.jp>